〇　〇　保育所（園）　〇歳児　　　　〇〇〇組保育案

　　　　　　　　　　　　　　　　　（混合・統合）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　期　日　　令和　　年　　月　　日（　）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　対　象　　　　　歳　　　名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　歳　　　名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（〇〇月１日　現在）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　保育者　　＊複数担任の場合は連名記入

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　場　所　　　〇　〇　〇　保育室

１．子ども達の遊び（題名・テーマ）

２．この遊びでねらうもの

３．子ども達の姿

　　　（１）　子どもの異動とクラスの特徴

　　　（２）　生活や遊びの実態と保育者の願い

４．今日の保育について

　　　（１）　今日までの遊び（活動）の経過と今後の見通し・計画

　　　（２）　指針が示す保育の「内容」との関連について

　　　（３）　この保育に当たっての願い

　　　　　　　①援助のための手立て（人的環境）

　　　　　　　②物的環境への配慮

５．環境構成図

６．展開図

表題及び表題上の留意事項について

1. 年令に合わせて常時縦割りの組編成をしている場合は、表題は「混合保育案」となる。

３･４･５歳児で縦割り２組以上の場合は、組別に混合保育案を作り、各組の特徴を記述する。

1. 特別な配慮を必要とする子どもが在籍している場合は「統合保育案」とし、各項目の中に特別な配慮を必要とする子どもの存在を含めて記述する。なお、「２．この遊びでねらうもの」の項目にも、特別な配慮を必要とする子どものねらいを記述する。
2. 対象の年令は、保育指針の姿と照合する為、訪問時の１日現在で記入する。保育案のうち、「１．子ども達の遊び（活動名）」～「４．今日の保育について」はA４縦長横書きで両面印刷する。

 保育案の各項目の具体的な内容の記述方法について

１．子ども達の遊び（活動名）

現在の子ども達の活動を、発達及び季節を考慮して遊びの題名（活動名）をつける。

かなり長期の遊びの総称となるため、題名はおおまかな表記となる。

子どもの気持ちを反映する表現が望ましい。

２．この遊びでねらうもの

今回の遊びについてクラスの実態を考慮し、この遊びで何を「ねらう」のか端的に記述する。

長期の遊びのねらいのため、「６．展開図　今日のねらい」よりは、広いねらいとなる。

なお、混合保育の場合は年令別に記述し、語尾に各年令を（　）内に記入する。

また、特別な配慮を必要とする子どもについても、その子どものねらいを記述し、末尾に当該児のイニシャルを記入する。

３．子ども達の姿

（１）子どもの異動とクラスの特徴

新入・転出入、及びクラスの特徴や特に特別な配慮を必要とする子どもの姿などをまとめて記述する。

（２）生活や遊びの実態と保育者の願い

　　　生活や友達との関わり、集団の育ちやクラス運営面での保育者の願いを記述する。

４．今日の保育について

1. 今日までの遊び（活動）の経過と今後の見直し・計画

生活や遊びの実態の中から今日の活動を選んだ理由、今日までの遊びの経過と現在の遊びの状態、今後の見通しまたは計画、及び保育者の配慮事項等を記述する。

1. 指針が示す「内容」の関連について

保育指針の５領域の中から現在の遊びに最も近い内容で一項目だけ取り上げ、その文章をそのまま記述する。末尾に、領域名と内容の番号を（　）で記入する（乳児保育【０歳児】は３つの視点より記述する）。

この内容について、今日の段階でねらいを達成するための、保育者としての願いとそれに基づく保育について記述する。

1. この保育に当たっての願い

具体的な方法を、援助のための手立て（人的環境）と、物的環境への配慮に分けて記述する。

* 1. 援助のための手立て（人的環境）

今日の保育にあたり、一人一人の興味・関心の実態を踏まえ、どのように声がけし、見守り、応じるか、組全体及び特に特別な配慮を必要とする子どもへの対応について記述する。

* 1. 物的環境への配慮

最近までに経験した物に対し、今日はねらいを達成するために〇〇の素材・用具を新たに準備・工夫、また配慮する順番・タイミングについて□□に配慮するという考え方を記述する。

「Ａ児が～するように、〇〇を配置する。」というように考えると記述しやすい。

５．環境構成図

構成図は用紙一枚に記入し、当日の遊びの場を図で示す。固定遊具・用具・教材・容器・素材（自然物など）の主なものの数・分量等を記入する。

０・１・２歳児については、予測する遊びの姿・場を人数分記述する。

雨天により室内に変更することが予想される場合は、クラス毎に用紙半分程度で図示する。

６．展開図

別紙〈Ⅱ〉～〈Ⅴ〉　を参照

７．その他の留意事項

1. ０・１．２歳児及び特別な配慮を必要とする子どもについては、個別入所（園）以降の経過状況について別紙に記述する。当該月個別指導計画の写しでも可。

（個人情報も配慮し、当日に提出、後返却する。）

1. ここに示した保育案の形式は特に規定するものではないので、各保育所（園）より独自性のある保育案で記述しても可。